

目次

ごあいさつ 2

経営方針

中期経営計画「New Stage 2011～元気よく～」……………3

トピックス 5

平成22年度業績ハイライト

損益の状況……………9
自己資本比率の状況……………9
不良債権の状況……………10
貸出金の状況……………10
預金・預り資産の状況……………10

業務運営方針

コーポレート・ガバナンス……………11
法令等遵守態勢……………13
当行が契約している指定紛争解決機関……………15
リスク管理の体制……………16

主要な業務内容 19

組織・ネットワーク

役員……………20
組織……………21
店舗のご案内……………22

資料編

目次……………30
連結ベース……………32
単体ベース……………76
開示項目一覧……………125



西日本シティ銀行本店

経営理念

理念

西日本シティ銀行は、高い志と誇りを持って時代の変化に適応し、お客さまとともに成長する“九州No.1”バンクを目指します。

お客さまに一番近い

お客さまに一番近い銀行として、誠実に対応し、圧倒的に支持される銀行をめざします。

地域に貢献する

健全経営を基本に、地域に貢献し、積極的に社会的責任を果たすことで広く信頼される銀行をめざします。

期待に応える人づくり

あたたかな心とチャレンジ精神を持ち、自由闊達で積極果敢に行動する人づくりに努めます。

行動憲章

心がある

私たちは、いつもお客さまの身になって、丁寧に対応し、真摯にご相談に取り組みます。

情熱がある

私たちは、いつもお客さまの声に、熱く行動し、チャレンジし、スピーディにお応えします。

夢がある

私たちは、いつもお客さまの期待をこえた、新しく、価値のある提案をお届けします。

会社概要

(平成23年3月31日現在)

商号	株式会社 西日本シティ銀行
設立	昭和19年12月1日
本店所在地	福岡市博多区博多駅前3丁目1番1号
資本金	857億45百万円
店舗数	208か店
従業員数	3,881名
総資産	7兆1,591億円
預金・譲渡性預金残高	6兆4,260億円
貸出金残高	5兆164億円



シンボルマークには、西日本シティ銀行がお客さま・株主・社会とともに成長し、喜びをわかちあい、地域に根ざした花を咲かせていくという願いを込めました。上部の花びらはそれぞれがステークホルダー（個人や法人のお客さま、株主、地域社会、行員など）を表し、下部の人間像はそれらを力強く支えていく西日本シティ銀行の姿勢と喜びを表現しています。また、全体をユニークで独自性の高いフリーハンドで図案化し、躍動感や人間的優しさを表現しています。コーポレートカラーは、あたたかい人間性や輝く太陽を表すオレンジと、洗練性や先進性を感じさせるブルーの2色を使用しています。

- 本資料は銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料です。
- 計数につきましては原則として単位未満を切り捨てて表示しております。



ごあいさつ

皆さまには、平素より西日本シティ銀行をお引き立ていただき、また常に温かいご支援を賜り、まことにありがとうございます。

わが国経済の概況は、海外経済の改善や経済対策の効果などを背景に、年明け以降回復期待が高まっていたところに先の東日本大震災が発生し、景気の先行き不透明感が高まっております。地域に目を向けると、当行の地元九州は、アジア需要等の牽引による生産の持ち直しも見られるほか、九州新幹線鹿児島ルートの中線開通や全国最大級の駅内商業施設「JR博多シティ」の開業など、明るい話題にも恵まれております。

こうした経営環境のなか、当行は、前中期経営計画「New Stage 2008」に掲げた目指す銀行像“国内トップレベルのサービスを地元で提供し、お客さまとともに栄える九州No.1バンク”の実現に向け、お客さま第一主義と収益重視を基本とする諸改革・施策に取り組んでまいりました。前中期経営計画の最終年度の最大の成果は公的資金を完済したことです。株主の皆さま、お取引先の皆さま、地域の皆さまほか多くの関係者の方々のご理解とご支援に、改めて御礼申し上げます。

当行は、この度、平成23年4月から平成26年3月までの3年間の計画期間とする新中期経営計画「New Stage 2011～元気よく～」を策定いたしました。今なお停滞し、不透明感、不確実性が高まるわが国の経済情勢を鑑みて、将来を見据えた経営戦略が不可欠であるとの認識の下、新中期経営計画では、前中期経営計画から掲げる目指す銀行像は不変とした上で、「総合金融サービス業への進化」と「徹底した生産性向上」をコンセプトといたしました。全役職員がこの計画を元気よく実行することにより、当行は上昇軌道から巡航高度へと飛躍し、これまで以上に株主の皆さま、お取引先の皆さま、地域の皆さまの期待に応えてまいります。

今、わが国では、先の大震災により多くの方々、地域が未曾有の苦難を乗り越えようと思いをひとつに頑張っておられます。こうしたなか、成長するアジアに近く、九州新幹線鹿児島ルート全線開通に沸く当行の地元福岡、九州が生み出す元気が、被災地へのエールとなり、わが国経済の牽引力となることを願ってやみません。役職員一同、「地域の活性化なくして地銀の将来なし」ということを改めて肝に銘じ、思いをひとつにして地域の発展のために邁進する所存ですので、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年7月

取締役頭取 **久保田勇夫**